

特色と活力ある学校づくり 柘野小学校

◆魅力ある学校づくりを目指して

「ひがん花の里」

カジカガエルの鳴く里柘野

小さな地区の小さな学校が、今大きく生まれ変わろうとしています。

特認校制度3年目を迎えた平成16年度は、全校児童26人（特認生19人）と転入職員4人を含めた職員10人でスタートしました。柘野の伝統ある教育的風土に特認生の新しい風を吹き込みながら、これまでの柘野小の良さを残しつつ、新しい校風づくりをめざして毎日の学校生活を過ごしています。

選ばれた立場の学校として、柘野小の魅力を存分に発揮することを今年のテーマとしています。今回はその魅力の一つ「体験活動」を紹介します。

◆柘野の自然を活かした体験活動

【筍ほり】4月上旬

区内の竹山で、保護者の指導をいただきながら全児童で筍を掘り起こします。今年は収穫した筍を給食で試食したり、換金したりしました。

【茶摘み】4月下旬

お茶農家の保護者に協力をいただき、摘採機に試乗してもらい、また昔ながらの手摘みも体験しました。摘み取ったお茶は校内の給茶機で飲んでいきます。



摘採機に試乗しました

【米づくり】6月～12月

田植えから稲刈り、脱穀、餅つきまで、収穫の喜びも味わいながら米作りを体験します。今の機械も昔のやり方でもどちらも体験します。

◆地域との連携を活かした体験活動

【柘野ひがん花まつり】9月23日

区行事の「ひがん花まつり」に参加者のガイド役として活躍します。「総合的な学習」で調べたことの発表も兼ねています。

【昔の遊び・道具づくり】7月上旬

区老人クラブの方々の指導で、竹とんぼ・水鉄砲・こま・お手玉作りを教えてもらいます。また、昔の道具として「わらじ」の作り方も学びます。

【炭焼き】12月

区にある炭焼き窯を活用し、町特産である竹を使って炭づくりに挑戦します。指導には地域で木炭・竹炭づくりをされる方をお願いしています。

体験を通して身に付けた知識や知恵、感覚はなかなか忘れないもの。いろいろな人や自然、ものと関わることで豊かな心を育むこともできます。

柘野小はこれからも、魅力ある学校づくりのために様々な体験活動を取り入れ、挑戦していきます。「よく考え、心豊かで、たくましい」子どもを育てることを目標に、新しい柘野小はますます進化していきます。



「わらじ」の作り方を学びました

町有地の公売

○公売物件

①宮之城町湯田510番6

宅 地 (251.16㎡)

分譲価格 3,039,036円

②宮之城町湯田512番11

雑種地 (373.83㎡)

分譲価格 4,018,672円

③宮之城町湯田512番12

雑種地 (279.23㎡)

分譲価格 3,127,376円

以上の町有地を売却しますので、そのための現地説明会を次のとおり開催します。

現地説明会に参加されないと、公売に参加できませんのでご注意ください。

同一区画に2人以上の申し込みがあった場合は、申込者立ち会いのものと抽選になりますので予めご了承ください。

○現地説明会

・日時 10月8日 午前10時

○現地説明会への参加申し込み

・申込期限 9月30日 午後5時

・申込方法

現地説明会参加申込書に記入

※電話による申込みも可

○申込み・お問い合わせ先

まちづくり対策課管財係

☎ 1111 内線291